



串木野高校校長です。よろしくお願いいたします。

だんだんと、今年度のまとめが近づいています。今回のテーマは、「 **最近のこと** 」です。

●2月になりました。

如月(きさらぎ)は、旧暦2月のことですが、陽暦の現在でも2月の和風月名です。

由来・語源ネタ

- ・有力な説は、「衣更着(きさらぎ)」が転じた説
衣更着には、厳しい寒さに備え、重ね着をする、(衣を更に着る)という季節感があります。
- ・他にも、陽気が更に来るから「気更来(きさらぎ)」になった説
- ・春に向けて草木が生え始めるから「生更木(きさらぎ)」になった説

まだまだ寒さは続きます。お体ご自愛くださいませ。

●3年生の自宅学習

3年生は、先週までの卒業考査を終えて、**2月は週に1回水曜日の登校**です。卒業式までカウントダウンとなってまいりました。自動車学校に通っている生徒もいます。将来へ向けてのステップですね。

●雪への対応

4日(火)、5日(水)と、いちき串木野でも雪が降りました。この冬で**最強の寒波**だったそうです。去年は暖冬で、雪も無かったですが、一変して、今年は大雪でした。

そのため、水曜日は授業開始を 10:55 からとしました。路面凍結やJRの運行などに恐れがあったためです。ご家庭でも様々な対応でご苦労があったことと推察いたします。自然の前では、人間は無理をしないことが大切だと思います。



●アクサユネスコ減災教育プログラム

南日本新聞で紹介された本校の取り組みでしたが、今年度取り組んでいる全国の30校余りが集まり、報告会を行ってきました。各学校、各地域の実情に応じて、被害の想定としては、例えば、台風、水害、火山、避難所開設など、たくさんあるなぁと感じました。また、**能登の中学校の先生の報告**もあったのですが、ご自身も被災され、また知り合いを亡くされたりしながらの復興、業務推進は辛いものがある、しかし、**生まれ育った珠洲の町を大切にしたい**、ということで、話を聴いていて涙が出ました。

●推薦入学者選抜

雪の降った2月4日(火)には、県内公立高校の推薦入学者選抜が実施されました。県内では、全日制・定時制を合わせて出願者数は 1304 人だったとのことでした。串木野高校でも、4人の受検生が頑張ってくれました。今年から、推薦入試の形態が一部変更になりました。学校のアドミッションポリシー(その学校がどういった生徒を募集しているか、また、どういった観点で入学生を選考するか)が問われるものでした。本校の「**串木野学**」での**地元探究**は、大きな訴えが出来ていたと感じています。

●一般入学者選抜

いよいよ、次は、3月5日(水)、6日(木)の一般入学者選抜に軸を移していきます。**生徒募集**は本校の大きなテーマです。たくさんの受検生が受験してくれることを願っております。**口コミ拡散**よろしくお願いいたします。



●卒業式

第 77 回卒業式は**3月3日(月)**を予定しています。卒業生の皆さん、卒業生保護者の皆様、おめでとうございます。各ご家庭では、次のステップに向けてのご準備がお忙しいところと推察いたします。スムーズに次の段階(就職、専門学校、短大、大学等)に進めるよう、よろしくお願いいたします。

串木野高校 頑張っています。

校長 堂蘭